

平成29年度事業報告書

(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

1. 事業の成果

相談支援事業においては、「佐賀県高次脳機能障害者相談支援センター ぷらむ」開所より3年経過と言うことで認知度も高まり、県内各地の福祉・行政等からの相談や問い合わせも増え、様々な生活・福祉面の相談や就労支援等に対応する一方、関係機関との協力体制の推進に貢献することが出来た。

情報提供事業では、近年問題化している小児高次脳機能障害について、専門家を招き講演会を開催した。それから作業所等で直接高次脳機能障害者に対応している支援員にむけて、ファシリテーターの先生方を招き、基本的な当障害の説明から事例検討まで幅広く学ぶ研修会を本年度も年2回開催した。また他の機関が開催した講演会やシンポジウムなどで講演・講義し高次脳機能障害への理解を促した。

交流促進事業では、交通事故や病気の後遺症で高次脳機能障害となられた当事者及びその家族に対し必要な情報提供やピア・サポートを実施し、同時に情報交換、相談を目的とした交流会も充実させ、リーフレットの送付や会報誌の発行による広報活動にも注力した。また佐賀地区以外の地域との関係性を深め、研修会や勉強会を経て、高次脳機能障害の特性や地域生活への理解を深めることが出来た。

2. 事業内容

(1) 高次脳機能障害者等への相談及び情報提供

【相談・支援事業】

高次脳機能障害に関する日常生活の諸問題についての相談受付、解決法の提示、及び解決に向けての活動を実施。

対象：高次脳機能障害当事者・家族、行政福祉等の関係者

○場 所 佐賀県佐賀市新中町 8-20

○事業日程 相談業務受付 通年 火曜～土曜（10時～18時）／第3日曜（10時～16時）

○従事者 1名（相談支援専門員）

相談方法	電話	メール	来所	その他
	159	4	111	42

のべ相談人数 316名

のべ相談件数 806件

【情報提供事業】

行政をはじめ、他の支援機関・家族会との情報交換や主催した講演会などから得られた情報を会報誌などを通じて各所に提供した。また、高次脳機能障害の特性や現状、抱える問題について、広く周知してもらうために各所での研修会及び勉強会を計画・実施した。他機関からの要請に応じてレクチャーなどもおこなった。同時に当センターや家族会の周知の為、リーフレットや会報誌の配布を行った。

対象：高次脳機能障害当事者・家族、行政福祉等の関係者、一般

《広報活動》

場 所 佐賀県佐賀市新中町 8-20
事業日程 9月半ば（会報誌 150部発行）
従事者 5～6名 ボランティア
受益者 高次脳機能障害者及びその家族、各関係機関担当者、一般

《講演(協力)》

平成 29 年 5 月 20 日	大牟田文化会館小ホール	185 名
平成 29 年 10 月 12 日	佐賀大学医学部地域医療支援センター	15 名
平成 29 年 10 月 24 日	佐賀県社会福祉士会	54 名
平成 29 年 11 月 22 日	佐賀大学鍋島キャンパス（医学部）	149 名
平成 29 年 12 月 20 日	佐賀大学本庄キャンパス	141 名

《外部講師を迎えて講演会開催》

「第 6 回 高次脳機能障害講演会」

場 所 佐賀大学医学部看護学科棟 1 階 5101 教室
事業日程 平成 29 年 7 月 22 日
テ ー マ 小児の高次脳機能障害の理解と対応
講 師 中島恵子（帝京平成大学大学院 臨床心理学科研究科教授）
参加者 85 名
備 考 教育関係者、他県からの参加者が多数あり

《研修会実施》

名称：高次脳機能障害者支援者研修会

平成 29 年 11 月 9 日	佐賀県中部保健事務所	29 名
平成 29 年 11 月 29 日	小城保健福祉センター「桜楽館」	10 名

(2) 高次脳機能障害者等の交流促進

【交流促進事業】

定期的に行っている高次脳機能障害者及びその家族との会合を継続。ピアサポートの実施や互いの抱える問題を話し合える場として有意義な時間となった。また他県の家族会員との親睦会も開催でき、会員同士の交流を深める事が出来た。

対象：高次脳機能障害当事者及びその家族

平成 29 年 6 月 18 日	総会・交流会	佐賀県難病相談支援センター	18 名
平成 29 年 7 月 22 日	親睦会	おせそ（和食処）	19 名
平成 29 年 9 月 24 日	交流会	アバンセ（佐賀市天神）	11 名
平成 29 年 12 月 10 日	親睦会	西光寺（富士町）	18 名
平成 30 年 3 月 25 日	交流会	佐賀県難病相談支援センター	13 名